

# 【文化財調査員】

## ◎主な配属先、業務内容

### ■本庁

#### 生涯学習・文化財課



- 文化財の指定を推進し、指定した文化財の管理および活用
- 国や市町と文化財等に関する調整

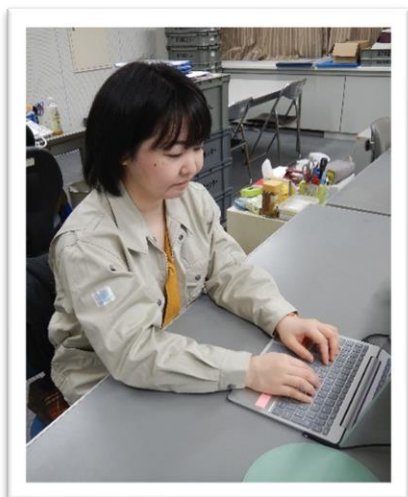
### ■出先機関

#### 埋蔵文化財調査センター

- 遺跡の発掘調査や遺跡から出土した遺物などの整理作業
- 調査成果を県民の皆様に広く知っていただくための発掘調査報告会や出前授業などの普及・啓発



## 【文化財調査員】平成28年度採用



### 埋蔵文化財調査センター

## 佐々木 芽衣

(奈良教育大学 教育学部総合教育課程  
文化財・書道芸術コース古文化財科学専修 卒業)



#### 【主な担当業務】

- ・発掘調査の報告書作成
- ・遺物整理作業の監督
- ・福井県内の小学校などへの出前授業
- ・国指定の重要文化財の林・藤島遺跡出土遺物の保存、保管

### ◎ある一日のスケジュール

8:30 業務開始、 メールチェック	8:45 出前授業の準備	10:00 報告書作成(図面 整理)業務	12:00 昼休み	13:00 展示内容の打ち 合わせ	14:00 報告書作成(原稿 執筆)業務	17:15 業務終了
--------------------------	-----------------	----------------------------	--------------	-------------------------	----------------------------	---------------

### ◎福井県職員を志望した理由

私が職員採用試験を受けた頃、福井県埋蔵文化財調査センターは北陸新幹線建設事業に伴う発掘調査が盛んだった時期でした。そのような状況下なら現場での経験を多く積めると思ったことと、福井県には学術的に貴重な遺跡が多くあることから、福井県で発掘調査や報告書作りに携わりたいと思いました。

### ◎仕事をはじめて感じていること

採用されてすぐ、調査グループという発掘調査を担当する部署に配属されました。発掘調査の日々が続き、最初は目の前の仕事で精一杯でした。一通りの仕事の流れが分かってくると、今度は業務の現状や課題が少しずつ見えてくるようになり、最近特に、センター全体で埋蔵文化財の活用事業に力を入れています。従来から実施してきた発掘調査報告会や出前授業のほか、センター内に展示スペースが新たに設けられました。また、YouTubeの福井県教育庁チャンネルでは、発掘調査の速報や発掘調査報告会の動画を配信するなど、新しい試みも始まっています。県民の方々に埋蔵文化財への理解を深めてもらう意味でも、これらはとても大切な活動だと私は考えています。

### ◎魅力・やりがい

鳥浜貝塚や一乗谷朝倉氏遺跡以外にも、福井県には他県と比べても魅力ある遺跡が多く、近年の発掘調査でも新たな発見が相次いでいます。また、埋蔵文化財の認知度は県内外ともにまだまだ低いと感じており、これからその魅力を発信していく余地が大きいと思っています。発信の方法も色んな手段を試みているのですが、新しい意見や視点を取り入れられやすい雰囲気職場であり、やりがいを感じています。

### ◎採用試験対策

専門的な知識があっても、教養試験で落ちてしまっはととてももったいないです。まずは、教養試験の対策を怠らないようにぜひ心掛けてください。専門試験の対策としては、私の場合、鳥浜貝塚や一乗谷朝倉氏遺跡など、福井県内の主要な遺跡について述べられるように勉強しました。また、測量器材の取り扱いや土器の実測など、仕事をする上で最低限の実務がこなせるように日ごろから練習していたのが、実技試験でも役に立ったと実感しています。

### ◎後輩たちへ一言

埋蔵文化財の仕事は、発掘調査や出土遺物の整理業務、報告書の作成・刊行に留まりません。埋蔵文化財の保存に関わる調整業務や、出前授業をはじめとする教育・普及活動など、多岐にわたります。どの業務ひとつとっても、それぞれの責任と大変さが伴いますが、やりがいも十二分にあると感じています。私は採用されてから6年目になりますが、今でも毎日が勉強です。日々学び続けたい人、成長し続けたい人にとっては最適な職場だと思います。